

繋ぐ

ひとを 思いを 時代を



時代に流されず変わらぬ姿 訪れた人を温かい気持ちに

特別ではないそれが魅力

幼いころ親に連れられて遊びにきた人が自分の子どもを連れてきたり、孫を連れてきたり。るなばあくには、いつの時代もそんな家族の姿が絶えません。

るなばあくは幼い子どもを対象にした遊園地です。子どもが楽しむのはもちろんですが、大人も楽しんでいけるようです。足を踏み入れると、かつて自分もその場で遊んだことを思い出すでしょう。自分の子どもや孫、訪れているほかの家族に昔の自分を重ね合わせ、いろいろな思いを巡らしているように感じられます。

自分がかつて楽しんだ遊具が、今も変わらず動いていることに感動を覚える人もいます。53年前から子どもたちを乗せてきた木馬は、その時代、その世代に愛され大切にされてきました。これからも多くの人を楽しませてくれることでしょう。そのほかの遊具も経年劣化に対応した入れ替えが行われてきましたが、できるだけ同じ型の物を導入し、多くの家族に愛され、親しま

れてきました。

では、初めて訪れた人が、るなばあくを懐かしい場所と感じるのはなぜなのか。それはきっと、新しい物や流行を求めようとせずこれまで歩んできたことや、何世代にも渡って愛されてきたことを、その雰囲気から感じ、自分が昔見たり聞いたたりした場所と結び合わせているからなのではないでしょうか。

次々と新しい遊具を誕生させ、大きなイベントを行い話題を集めている遊園地もあります。そこは非日常を味わえる夢の国。洗練されたショーなどを前に、その場にいる誰もが胸の鼓動の高まりを感じるでしょう。ほかの多くの遊園地が目指している姿かもしれません。そこを、「心躍る場所」とすれば、るなばあくは「心温まる場所」。るなばあくに広がるのは非日常ではなく、日常の延長線上にある世界です。特別ではないけれど、いろいろな物に触れ、人に出会い、たくさんを知ってもらう場所なのです。

るなばあくのスタッフは、決まりきった言葉ではなく、自分の言葉で子どもたちと接します。「よく来たね」

「大きくなったね」「お父さんお母さんとけんかでもしたの?」。また、多くの市民ボランティアも同様です。普通のおじさんやおばさん・お兄さん・お姉さんとの普通の会話。子どもたちに必要なのは、そういう普通の人たちとの出会いや触れ合いです。心が通い合ったときのくすぐったくなるような温かさ。これが、るなばあくにまた来たいと感じる魅力なのです。

日本一懐かしい遊園地とは

るなばあくのほのぼのとした雰囲気の中で、子どもたちはゆっくりと感性を身に付け、大人になっていきます。ここは、時代も世代も超えた多くの市民のたくさんのおみやげ思い出が詰まっている場所なのです。一人一人の大切な心の財産とも言えるでしょう。

「自分たちのるなばあく」として一人でも多くの人に誇りと愛着を持ってもらえたら。けれど、普段は忘れていてもいいのです。ふと思いついたとき、懐かしさに浸って温かい気持ちになってもらえたら。おじいちゃん、おばあちゃんになっても心に残っている遊園地。それがるなばあくが目指す「日本一懐かしい遊園地」の姿です。

前橋るなばあく

- 開園時間
 - 11月～2月 午前10時～午後4時
 - 3月～10月 午前9時30分～午後5時
- 休園日
 - 毎週火曜（祝日の場合は翌日）
 - 12月29日(土)～1月1日(火)

所在地：前橋市大手町三丁目16-3 TEL：231-6774 HPアドレス：<http://www.lunarpark.jp/>

- 無料シャトルバス（前橋市役所↔るなばあく）
 - 土日曜・祝日は市役所とるなばあく間を無料シャトルバスが運行。ぜひ、ご利用ください。
- 公共交通機関
 - JR前橋駅からはバスで、北口「新前橋駅西口行き」乗車「遊園地坂下」下車
 - JR前橋駅からはバスで、西口「前橋駅行き」乗車「遊園地坂下」下車